

おいでよ！そばに

「棚田と清水、摩耶の里・こえさわ」



越沢活性化ビジョン

(越沢のめざすべき将来像)

平成29年3月19日策定

越沢自治会・越沢自治会活性化委員会

目 次

はじめに	1
1. 活性化ビジョンのテーマ	2
2. 越沢のめざすべき将来像	2
3. 計画の期間	2
4. 現状と課題	3
5. 数字で見る越沢.....	4
6. 地域が誇る資源と強み.....	5
7. 取組みの方向性	7
8. 取組みの目標	9
9. 事業計画	10
10. 具体的な提案整理表	11
11. 自治会運営体制と防災マップ・越沢見どころ、食どころ	13
12. 活性化委員会の経過	15
あとがき.....	16

はじめに

越沢自治会 会長 野 尻 善 共

自治会の皆様には、日頃から安全で活力ある住みよい自治会づくりのために、各種事業や協働作業並びに行事などに対し、ご理解とご協力、ご参加を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、ここ越沢は、名勝「摩耶山」をはじめ、名水「郷清水」、美しい景観の「越沢の棚田」など、豊かな自然と清流に恵まれ、美味しいお米はもちろん、在来作物として注目されている越沢の地そば「三角そば」やササマキ、とち餅、山菜、キノコなど自然の恵みを活かした食文化が脈々と受け継がれています。

また、過去には水害や火災など数々の災害に見舞われましたが、県や市町をはじめ周辺地域からのご援助を賜り、先人のご尽力によりまして、集落内幹線道路や水道の整備、治山事業など将来を見据えた防災対策を講ずる傍ら、越沢音頭を歌い踊り、獅子舞を復活させるなど、復旧復興に明るく前向きに取り組んでまいりました。その過程の中で、住民の絆は一層強まり、活力ある地域づくりにおける心の礎になっています。

しかしながら、時代の流れとともに人口減少や高齢化の進展が顕著となり、私たちの安心・安全な暮らしの維持や資源の保全と利活用、交流と生きがいつくりなど、新たな課題への対応が求められています。

そこで、今年度、自治会では地域おこし協力隊を含めた住民20名による「越沢自治会活性化委員会」を立ち上げ、「自然、文化、住民がいきいきと心ふれあう、豊かで安心して暮らせる地域づくり」を目的に、「越沢活性化ビジョン（越沢のめざすべき将来像）」の策定に取り組んでまいりました。

このビジョンを策定するにあたり、中学生以上の住民を対象とした地域づくりアンケート調査を実施し、住民が抱えている問題や将来に向けた不安を把握するとともに、越沢の豊かな自然やその恵み、伝承文化など誇れる地域資源を拾い出しながら、活性化委員会において検討を重ね、このほど、ようやく越沢の将来を見据えた自治会づくりの方向性を「ビジョン」としてまとめあげることができました。

結びになりますが、この「越沢活性化ビジョン」を推進していくためには、自治会住民の絆を強め、住民一人ひとりのご参加が欠かせないものであります。自治会の皆様のご理解とご協力を切にお願いいたします。



1. 活性化ビジョンのテーマ

おいでよ！そばに「棚田と清水、摩耶の里・こえさわ」

「摩耶山」の麓より湧き出でる「郷清水」は、「棚田」をはじめ近隣の田畑を潤し、豊かな実りを与えてくれる。ここで収穫されるおいしいお米はもちろん、世代を越えて栽培されてきた地そば「三角そば」は、在来作物として認められた私たちの貴重な資源です。

ここ越沢は日本の原風景が今なお残る素朴で人情味溢れる賑わいのある地域です。この豊かな資源を積極的に活用し、豊かで活気に満ちた魅力ある集落づくりをめざしましょう。



摩耶山：県指定名勝（S36.5.6指定・標高1,019m）

越沢の棚田：やまがたの棚田20選（H20.2認定）

郷清水：里の名水・やまがた百選（H28.10.1選定）

2. 越沢のめざすべき将来像

県指定名勝「摩耶山」、名水「郷清水」、景勝の地「越沢の棚田」、そして、美味しいお米と在来作物「越沢の地そば（三角そば）」、ゼンマイやワラビなど山菜は、豊かな自然が与えてくれた私たちの誇りであり貴重な資源です。また、越沢そばやササマキといった食文化、獅子舞など伝統文化は、先人から脈々と継承されてきた技と知恵の守り育てるべき知的財産です。加えて、越沢大火や水害など数々の災害から復旧復興を成し得た住民の郷土を愛する心と地域の絆は、越沢の強みです。

越沢自治会では、住民が地域に誇りと自信と愛着を持ち、互いに助け合い、子供から高齢者まで幅広い世代が仲良く力を合わせ、いつまでも安心して生き生きと暮らし続けられる地域づくりに励みます。そして、先人から受け継いだ技と知恵によって豊かな自然の恵みと越沢の強みを最大限に活かし、活気に満ち溢れた豊かな地域づくりをめざします。

3. 計画の期間

平成29年度～平成34年度

4. 現状と課題

越沢集落は、鶴岡市旧温海町の南東部に位置し、風光明媚な摩耶山の懷に抱かれ、その山塊から貫流する庄内小国川、口黒沢、高野沢流域に形成している山村集落です。摩耶山、郷清水、棚田といった美しい自然景観と清流、豊かな自然の恵みとして美味しいお米と越沢の地そば（三角そば）、ゼンマイやワラビなど山菜が豊富で、越沢そばやササマキといった食文化、獅子舞など伝統文化も着実に継承されています。

また、越沢大火や水害など数々の災害に見舞われましたが、先人たちは集落の防災機能を考慮した幹線道路や水道の整備、治山事業を施し、住民が希望を持てるよう「越沢音頭」を制作するなど、復興に全力を注いできました。

しかしながら、中心市街地へは国道345号で約30km、温海庁舎へは県道を通り約15kmの距離という立地条件や冬の厳しい豪雪から、平成27年度末の人口と世帯数は、人口299人、世帯数84戸で、平成17年度末と比較すると、人口で56人（▲15.8%）、世帯数で6戸（▲6.7%）減少しており、高齢者世帯や空家が増加しています。

こうした環境や歴史的背景、人口の推移などの現状を踏まえ、中学生以上の住民を対象とした「地域づくりアンケート調査」の実施と活性化委員会のワークショップから、次の6つに課題を整理しました。

1. 屋根の雪下ろしや除雪、空家対策など暮らしの安心・安全対策が必要
2. 豊かな自然環境や景観の保全と魅力の情報発信が必要
3. 自然の恵みや先人の技と知恵など地域資源の積極的活用が必要
4. 祭りや獅子舞など伝統文化の着実な継承が必要
5. 地域住民の賑わいと生きがいくりの場の創出が必要
6. 持続可能な自治会運営と活性化ビジョンの推進体制づくりが必要

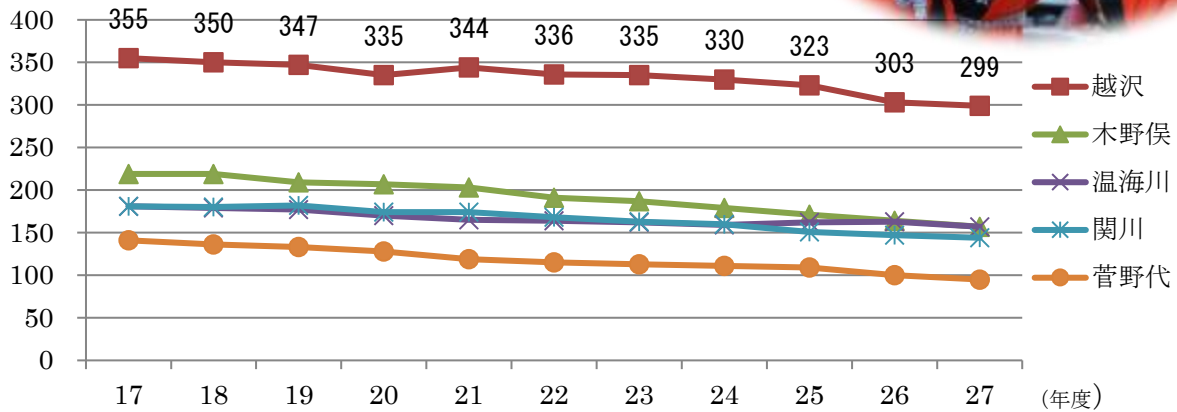
以上、6つを柱として、取組の方向性と目標を定め、行動計画を作成し、実践・実現をめざしていきます。



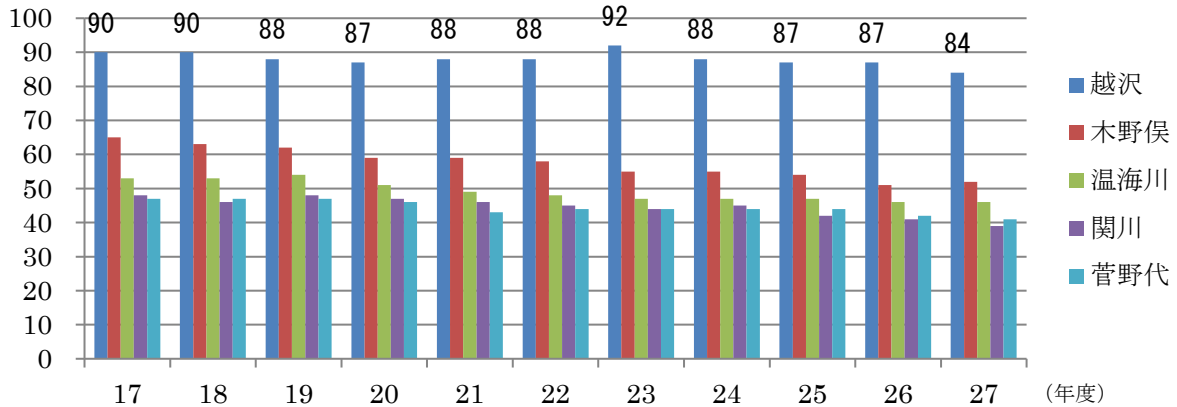
5. 数字で見る越沢



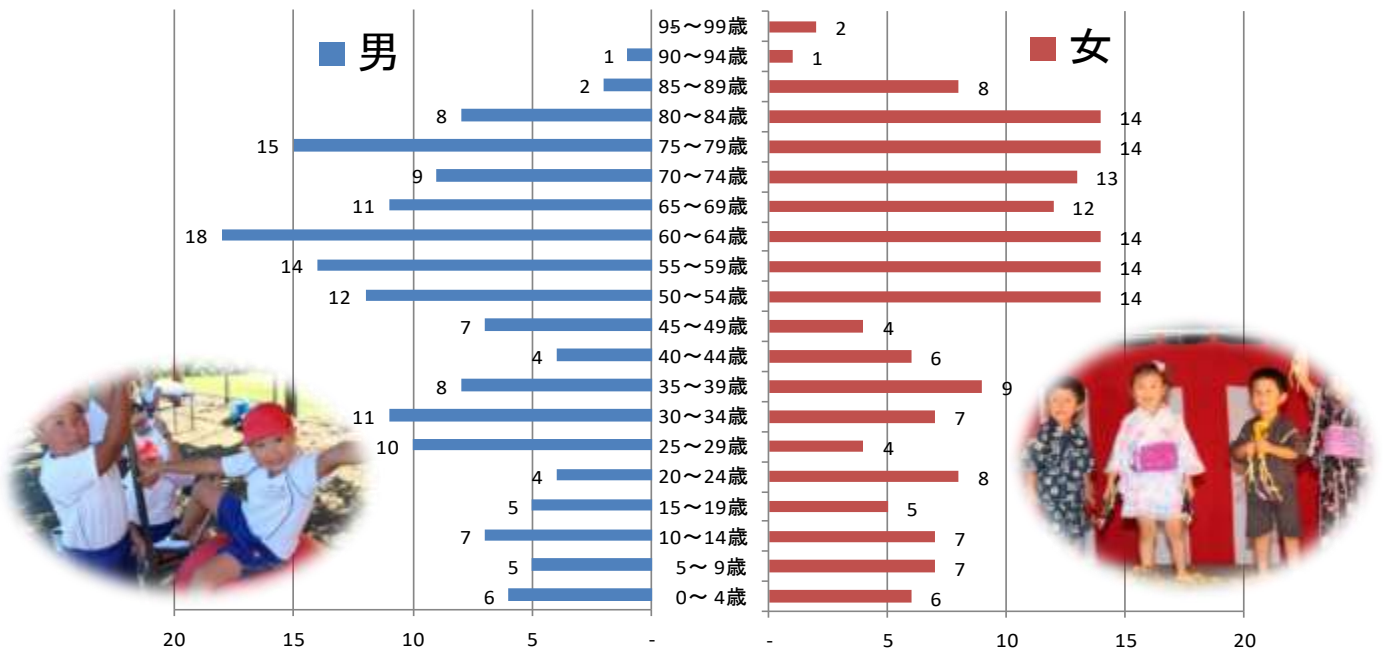
(人) 福栄地区各集落の人口 (住民基本台帳)



(世帯) 福栄地区各集落の世帯数



越沢集落男女別年齢区分人口 (平成 22 年国勢調査) (人)



6. 地域が誇る資源と強み



自然の魅力と恵み

月山や朝日連峰の山々、日本海など素晴らしい眺望の「摩耶山」は、毎年大勢の山岳観光客が訪れ山頂をめざす。その山塊から貫流する清流庄内小国川では、雪解けの春を迎えると、イワナやヤマメなど溪流釣りが楽しめます。また、摩耶山の麓より湧き出でる名水「郷清水」は、先人たちの知恵と苦労で築いた「棚田」をはじめ近隣の田畑を潤し、美味しいお米や越沢の地そば（三角そば）など豊かな実りを生み出します。ゼンマイやワラビ、ウド、タラの芽などの山菜やきのこなど山の恵みも豊富で、世代を繋ぎ引き継がれてきた乾物、塩蔵、漬物などの保存技術によりいつでも美味しく食すことができます。生活の知恵とおもてなしの心から生まれた越沢そばやササマキ、とち餅などはどれも風味がよく美味しく、さらに、郷清水で収穫されたお米を原料とした地域限定販売の清酒「摩耶山」、「摩耶姫」は旨いと評判の日本酒です。

四季折々に人々の暮らしに恵みを与え、どこか懐かしさを感じさせる原風景と食文化が心に癒しと和みを感じさせてくれます。ここ越沢はそんな魅力溢れる集落です。



項目	内 容
自然	摩耶山（県指定名勝 S36）、越沢の棚田（やまがたの棚田 20選 H20）、郷清水（里の名水・やまがた百選 H28）、まるもり（東屋整備 H25）とくさの池、庄内小国川・沢（溪流釣り）、儀左工門のブナ林、聖台のブナ林、炭焼き跡
技	そば打ち、炭焼き、わら細工
食	越沢そば（地そば「三角そば」）、ササマキ、とち餅、山菜料理（ゼンマイ、コゴミ、ワラビ、タラの芽等）、キノコ料理、山葡萄酒、マムシ酒、うめ酒、どぶろく、漬物、乾物、塩蔵類、清酒摩耶山、清酒摩耶姫、郷清水棚田米



地域の絆と共助の心

越沢は過去に火災や水害など幾多の災害に見舞われましたが、先人達は集落の将来を見据えた考えの下、集落住民の支え合いにより、辛抱強く明るく逞しい精神力で苦難

を乗り越えてまいりました。また、越沢大火後には当時の青年団が中心となり復興の越沢音頭を制作し、集落を挙げて歌い踊り励まし合い、郷土を愛する心と共助の精神が養われ、集落民の確固たる絆を築いてきました。

現在においても、運動会では全世帯の子供から高齢者まで参加して和気あいあいと汗を流し、夏祭りには帰省客も一緒に大勢の人出で賑わいます。他にも春秋の摩耶山登山会、越沢新そばまつりなど、集落を挙げて多くの訪問客をもてなし楽しませる人情味溢れる地域性があります。さらに、河川清掃や冬の公共物の雪下ろしなど共同作業には住民皆さん精力的に参加します。地域の絆と共助の心は越沢の強みです。

※越沢大火（S26.7.26）：焼失144棟・被災92世帯691人・被害総額1億6千万円

項目	内 容
歴史	郷清水開拓、越沢大火(S26.7)、新興道路開通、越沢小学校閉校、越沢基幹集落センター建設(S53)、国道345号バイパス開通、まやのやかた開店、越沢僻地保育園閉園(H9)、越沢自治会法人化(地縁団体H27.4)、越沢センター大規模改修(H27)、福栄小学校閉校(H28.3)、
文化	越沢音頭、獅子舞、鳥刺し舞い、越沢弁、藁焼き行事、神楽、大黒舞、高砂
伝統行事	大里神社祭典、山の神、カブの歳夜、藁焼き行事、正月飾り、太子講
イベント	摩耶山登山会(春・秋)、越沢新そばまつり、郷清水・棚田トレッキング
自治会行事	河川清掃作業、花いっぱい運動、ごみゼロ運動、郷清水・棚田トレッキング、とくさの池登山会、子供会体験教室、子供会火の用心、夏祭り、運動会、敬老会、新そばまつり、まやのやかた運営、冬のイルミネーション、自主防災訓練、雪灯籠、方言まとめ、カレンダー作成、



おいでよ！そばに 棚田と清水、

1. 暮らしの安心・安全を支える仕組みづくり



住民が安心して安全に暮らし続けられるように、冬期間の屋根の雪下ろしや除雪に関する支え合いの仕組みづくりを検討していきます。

また、子供たちが安全に遊べるよう危険箇所の対策や遊具など遊び場の整備や、暮らしに対する困りごとなどを何でも相談できる窓口を設置し、速やかに解消できるような仕組みづくりを進めます。

さらには、空家の利活用、買物、移動支援など生活機能の維持に向けた研究をしていきます。

2. 豊かな自然を守り魅力の発信・誘客

摩耶山・郷清水・棚田と豊かで美しい原風景を後世に繋げていくために、保全活動や環境整備に努めるとともに、これらの活動に対して関係団体や地域内外の人の協力が得られるような仕組みづくりを進めます。

また、その魅力を SNS や YouTube などを活用し広く情報発信すると共に、多くの来訪者が楽しめる体験プログラムを開発し、交流人口を増やし賑わいを創出します。さらに、越沢のシンボルとして“花”の制定を進めます。



3. 地域の資源の活用で豊かな集落に



在来作物「越沢三角そば」の栽培面積を増やし、ブランド価値を高め、「まやのやかた」において、打ちたてのそばを来館者へ提供できるような条件整備を進めます。

また、ササマキやとち餅、春はゼンマイなどの山菜、秋はきのこなど、まやのやかたを小さな産直機能を持たせ、地域に豊かさを与える地域活性化の拠点として、販路を開拓・拡大し豊かな集落づくりをいたします。

摩耶の里・こえさわ

4. 伝統の技と知恵を守り伝え活かす



越沢のそば打ちにササマキやとち餅作り、乾物、塩蔵、漬物などの古来より受け継がれた技術や知恵の記録保存伝承を行い、食文化の活用を図ります。

また、獅子舞や越沢大火の復興音頭である「越沢音頭」及び年中行事などの記録保存を行うとともに、必要な用具の整備を行い後世にも繋がる伝承活動を進めていきます。

5. 地域の絆を強め、郷土愛と生きがいづくり

高齢化の進展に伴いより身近な住民による支え合い活動が日常的にできるような隣組の再編を検討していきます。また、山や川、棚田など子供たちの自然体験を通じ、郷土を想う心を育てます。

そして、共助の精神を醸成し地域の絆を強め、世代間交流や高齢者の技の伝承活動などで生きがいづくりを進めます。



6. 持続可能な地域運営の体制づくり

自治会の将来を見据え、自治会組織の再編や運営、活動のあり方について見直し・再点検を行い、住民の負担軽減を図りながら、住民総参加の持続可能な自治会運営の体制づくりを行ってまいります。

そして、地域活性化ビジョンの実現に向け、地域住民や多様な組織との連携・実践を通じて、地域を総合的にマネジメントしていけるような人材の確保・育成について研究していきます。



1

暮らしの不安を解消する。

○具体的目標

- ・冬期間の雪下ろしや除雪の支え合い活動の仕組みを築く。
- ・子供たちが安心して遊べる場づくりをする。
- ・空家の利活用や将来の買い物、移動支援を研究する。

2

魅力みがきと賑わいを創出する。

○具体的目標

- ・原風景の保存・整備に地域内外の人々によるサポート体制を築く。
- ・地域の魅力を積極的に情報発信し、交流人口を拡大する。
- ・越沢のシンボル“花”の制定を行う。

3

特産物のブランド化、販路拡大を図る。

○具体的目標

- ・在来作物「越沢三角そば」のブランド化を進める。
- ・まやのやかたを拠点に産直機能を設け、販路の拡大を図る。

4

先人の技と知恵を継承し、未来へ活かす。

○具体的目標

- ・越沢そば打ち、ササマキやとち餅作りなど、その技術の伝承活動と記録保存に取り組む。
- ・獅子舞や越沢音頭の保存伝承記録に取り組む。

5

自然体験と生きがいの場づくりに取り組む。

○具体的目標

- ・子供たちの自然体験プログラムを開発・実践する。
- ・世代間交流や高齢者の憩いの場づくりに取り組む。

6

組織の再編と住民総参加の体制をつくる。

○具体的目標

- ・将来を見据えた自治会の組織体制と事業の見直しを行う。
- ・住民総参加意識の醸成と地域づくりのリーダー確保・育成を図る。

9. 事業計画（平成 29 年度～平成 34 年度）

項目別の活動内容	主な連携先	着手年度（計画○、実施●）					
		H29	H30	H31	H32	H33	H34～
1. 暮らしの不安を解消する							
自治会に生活相談窓口の設置と対応できる体制づくり （例）雪下ろし、ゴミだし、雪囲い等		●	●	●	●	●	●
子どもの遊び場として、まやのやかた広場とセンター前広場の整備				○	●	●	●
空家バンクを創設し移住対策に活用	所有者			○	●	●	●
AEDを自治会内に設置（消防車庫等）	消防団			○	●	●	●
将来の買い物、移動支援について検討	商店				○	●	●
2. 魅力みがきと賑わいを創出する							
越沢の魅力・情報をリアルタイムに発信		○	●	●	●	●	●
越沢のシンボル“花”の制定と推進		○	●	●	●	●	●
センター前を中心に越沢内に桜など花の植栽			○	●	●	●	●
越沢そば写真コンテストの開催			○	●	●	●	●
まやのやかた（越沢）パンフレットの作成とPR活動の実施	まやのやかた			○	●	●	●
郷清水や棚田の保全活動にファンドやサポーター制度を活用	外部人材				○	●	●
3. 特産品のブランド化、販売拡大を図る							
越沢三角そばのブランド化推進と生産拡大	生産農家	○	●	●	●	●	●
越沢のササマキや山菜などの特産品の販路拡大			○	●	●	●	●
まやのやかたの通年営業に向けた検討 （例）夜間営業料金設置、産直市設置	まやのやかた			○	●	●	●
まやのやかたで製粉とそば打ちができる体制整備	まやのやかた				○	●	●
4. 先人の技と知恵を継承し、未来へ活かす							
越沢そばの打ち手の継承活動の実施	まやのやかた	●	●	●	●	●	●
越沢の物づくり文化を若い世代に伝える取組み			○	●	●	●	●
越沢獅子舞や越沢音頭の保存伝承記録の取組み				○	●	●	●
越沢の歴史、文化、史跡等の調査と整理					○	●	●
山菜、農業、後継者問題の解決に向けて営農法人設立の検討	J A, 行政					○	●
5. 自然体験と生きがいの場づくりに取り組む							
センターで内職して収入を得る仕組みづくり		○	●	●	●	●	●
センターを高齢者の生きがいつくりの場としての活用		○	●	●	●	●	●
越沢の資源を活用した体験プログラムの開発と実践				○	●	●	●
6. 組織の再編と住民総参加の体制をつくる							
自治会の組織体制と事業の見直し		●	●	●	●	●	●
自治会運営に若い人の意見が反映されるような仕組みづくり			○	●	●	●	●
地域づくりの人材確保と育成の推進				○	●	●	●

10. 具体的な提案整理表

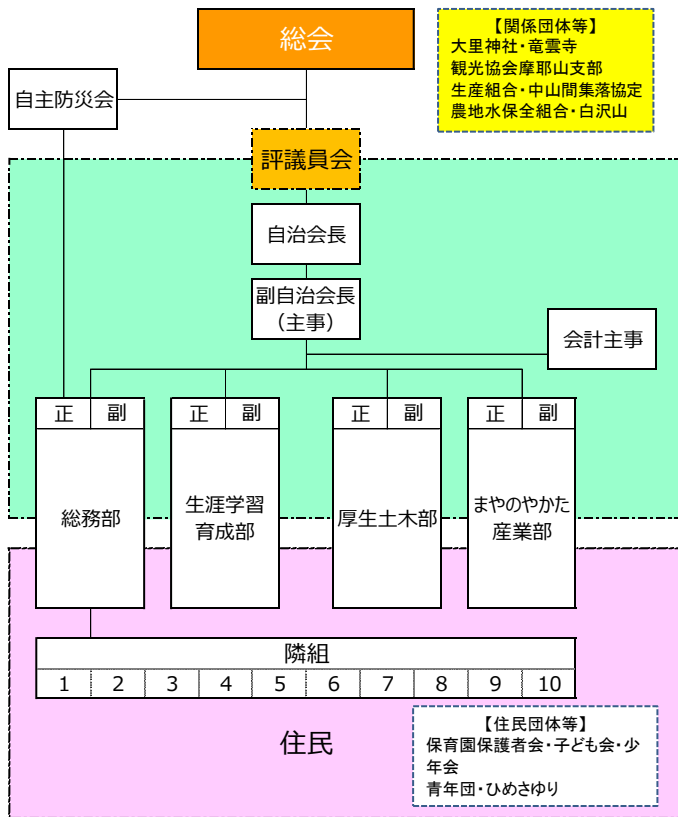
※活性化委員会 WS で提案された内容をまとめました。

分類	項目	着手時期			主体・役割・連携(実践の体制)						想定される連携先など	
		すぐ	2～4年	5年～	住民 個々	各種団体 の取組み	地域の 取組み	他団体と の連携	他地域と の連携	行政と の連携		行政
1 暮らしの 改善に 関する 提案	商店がなくならないように、越沢や地区から集約して販売量が増えるようにする。	○			◎							
	越沢の商店を継ぐ人がいるのか。いない時の対応策を検討する必要がある。	○			◎							
	子供達が安全に遊べるように、まやのやかた広場、集落センター前広場周辺に網などを設置する。	○					◎					
	非常用のために、AEDを消防車庫2箇所に設置する。	○					◎					
	まやのやかたを夜間利用する場合は、夜間使用料を徴収する。	○					◎					
	女性40代、50代のサークルをつくり、自分たちの好きなことから始めて楽しむ。	○					◎					
	雪下ろしが出来ない時に自治会に有料で依頼すると、自治会内より作業員を派遣してくれる。作業員には賃金を支給する。	○					◎					
	冬期間、老人世帯を対象にした屋根の雪下ろし隊を立ち上げる。(夏祭り行事を見直し予算をつける)	○					◎					
	屋根の雪下ろしにボランティアの人達を集め活動をする	○					◎					
	自治会の中に何でも相談所をつくる。雪下ろし、ゴミだし、雪囲い等、その相談所が様々手配してくれる。	○					◎					
	センターを開放して、子供たちが放課後の遊び場にできるようにする。	○					◎					
	越沢の人の好さは、孫親とのかかわりが大きいと思われるため、昔語り等を行い、子どもと年配の人との交流を増やす。	○					◎					
	若い人から越沢に誇りを感じてもらえるように「越沢若者塾」をつくり、自然の恵み、先人の知恵や技を学んだり体験したりする機会をつくる。	○					◎					
	今までの行事はリセットして、楽しめる、参加しやすい内容を検討する会議を開催する。アンケートなどで意志を募る。	○					◎					
	隣組を編成する。	○					◎					
	越沢内の情報を、毎月自治会新聞として発行する。		○				◎					
通常路線バスの他に、買い物用にまわる専用バスをつくってもらおう。		○							◎		鶴岡市とバス会社と調整	
高校へ通学する場合に自治会に登録すると、市内に通勤している人を紹介してもらい同乗できる。(有料)		○							◎		鶴岡市とバス会社と調整	
有効利用のために、自治会で空家を管理し、移住対策に利用する。		○							◎			
2 自然や 景観に 関する 提案	川狩り(川遊び)や川の自然を楽しむため、河川を整備する。		○			◎						河川管理者(県、市)
	景観を良くするため、345号沿いに花を植える。		○			◎						
	農道、林道が整備されているので、越沢の自然を軽トラで散策するツアーを行う。棚田米や酒、山の物に付加価値がつく。		○				◎					
	バードウォッチングを開催する。		○				◎					
	越沢センター前を中心に桜の木を植える。		○				◎					
郷清水、棚田の保全活動を行うため、ファンドの活用やサポーター制度により地域外の有志からも協力願う。		○							◎		サポーター制度は鶴岡市と連携	
3 地域資源 活用 に 関する 提案	まやのやかたで焼き物の器を売る。	○			◎							
	特産品を自治会にある商店に置いてもらいPRする。	○				◎						
	笹巻は口コミでもすごいファンが山形県内や関東域にいる。個人だけではなく越沢全体での取組みが必要である。	○					◎					
	そば打ち見習い希望者に道具等を無償で貸し出して、そば打ちをはじめやすくする。	○					◎					
	まやのやかた専属そば打ち職人をつくりあげる。	○					◎					
	まやのやかた開店日に合わせて、山菜や野菜等の産直を行い、越沢の中でも収入を得られるようにする。	○					◎					
まやのやかたを通年開放する。	○					◎						

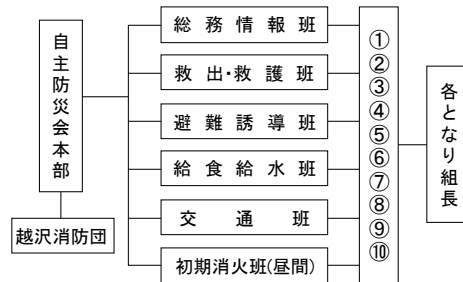
分類	項目	着手時期			主体・役割・連携(実践の体制)							想定される連携先など	
		すぐ	2~4年	5年~	住民 個々	各種団体 の取組み	地域の 取組み	他団体と の連携	他地域と の連携	行政と の連携	行政		
3 地域資源 活用に関 する提案	農業の担い手は、親から子では限界があるため、地域で後継者を考える。		○		◎								
	越沢の農産物等をインターネット販売できる仕組みをつくる。		○			◎							
	組織を作り、山菜がある場所を守る。		○			◎							
	笹巻の知名度を上げるため、SNS等で宣伝して、注文も受けられるようにする。		○				◎						
	SNS、ラジオ、TV、新聞等で越沢そば(三角そば)を宣伝して、まやのやかたの集客数を増やす。		○				◎						
	雪下ろしツアーなど、雪を活用した地域づくりを行う。		○					◎					
農業を会社として設立して、そこで働いて給与をもらえる仕組みをつくる。		○							◎			JAや市と連携	
4 伝統や文 化に関す る提案	伝統文化に参加する人を増やすために、敷居を低くする。	○				◎							
	越沢のやっていることをホームページ等を通じてリアルタイムで発信していく。	○				◎							
	そば打ち後継者の育成を早めに行う。	○					◎						
	昔からの物づくり文化を伝えるため、子供への体験教室を行う。	○					◎						
	笹巻の作り方を学ぶ。	○					◎						
	越沢の史跡を調査して、まとめる。		○				◎						
	越沢の歴史・文化事業の資料を作成して全世帯に配布する。		○				◎						
越沢音頭、獅子舞いなどのルーツを確実に次世代へ伝える。		○				◎							
5 生きがい につながる 提案	越沢住民がたくさん参加している運動会をもっと盛大にする。	○					◎						
	越沢の高齢者が集まって内職等をする事で、生きがいづくりと小遣い稼ぎができる。	○					◎						
	越沢センターを高齢者のお茶飲み場にして、コミュニケーションの場をつくる。	○					◎						
	年代を超えた交流が楽しめるように、年齢が偏らないような実行委員とする。		○				◎						
6 そのほか 越沢の元 気につな がる提案	まやのやかたを、夜は居酒屋として利用する。	○					◎						
	まやのやかたに郵便受けを設置して配布物を受けやすくする。	○					◎						
	ソーラーパネルによる電気を活用して、サルの害を防ぐ。	○								◎		鶴岡市	
	自治会運営に、若い人が残れるような考え方や仕組みをいれる。		○				◎						

11. 自治会運営体制と防災マップ・越沢見どころ、食どころ

越沢自治会運営組織図



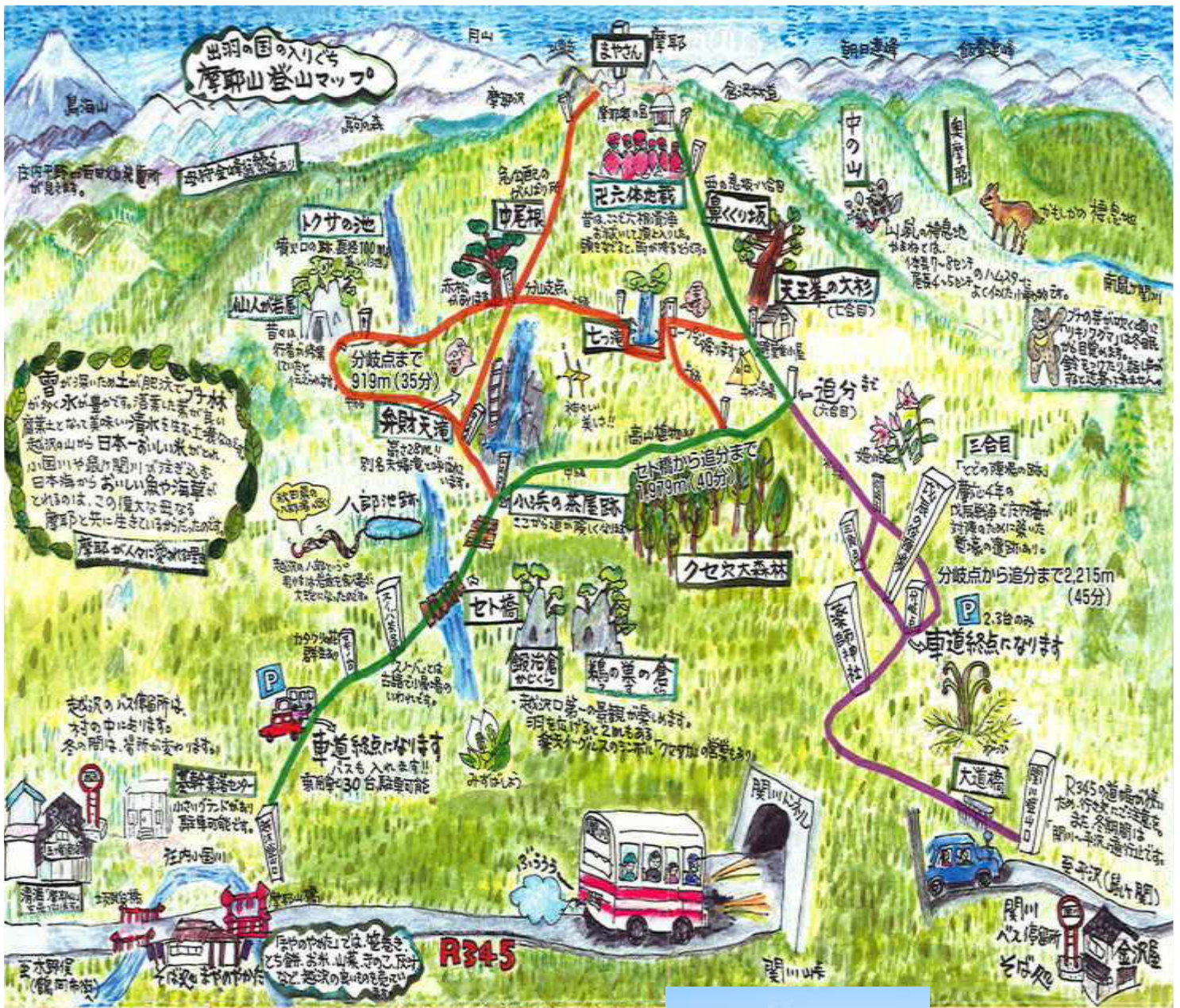
越沢自主防災・組織図



緊急連絡先	
鶴岡消防署	119
鶴岡警察署 温海交番	43-2722
温海庁舎	43-2311
越沢基幹集落センター	47-2313

越沢の防災マップ

標識図	説明
●	消火栓
■	防火水槽
■	消防ポンプ小屋
■	避難所
○	大雨時危険箇所
〰	急傾斜地
○	冬期間なだれ注意
---	生活用水路



越沢見どころ、食どころ

山形県認定 棚田20選

道の駅

そばのやかた

集落センタ

摩耶山登山口

現在地

現在地から登山口まで 700m
平成二十四年十月吉日

12. 活性化委員会の経過

《 経過 》

○第1回活性化委員会 平成28年6月18日（土）開催

《目的》 越沢自治会活性化委員会設立の趣旨とビジョン策定の目的の共有

《内容》・活性化ビジョン策定の概要と進め方について

- ・アンケート調査の実施について
- ・先進地視察について



○越沢自治会「地域づくりアンケート調査」の実施 平成28年7月10日～24日

《目的》 住民が抱えている不安や問題、地域づくりに対する考え等の調査

《対象》 中学生以上の住民全員 80世帯 248人

《回収》 回収 209枚 回収率84.3%



○先進地視察研修 平成28年9月24日（土）開催

《目的》 課題解決に向けた先進的な取組現場を視察

《視察先》

- ◇金山町「谷口がっこうそば」
 - ・廃校を活用した農業、農村体験による都市交流の取組み
 - ・地元産物を活用した「谷口がっこうそば」の運営
- ◇村山市「中沢の棚田」
 - ・中沢棚田保全会田んぼボーイズの取組みによる集落の活性化
- ◇道の駅「にしかわ」
 - ・産直センターの販売状況



○第2回活性化委員会 平成28年10月28日（金）開催

《目的》住民アンケートを踏まえ4つの視点から地域を見つめ直す

《内容》第1回活性化ビジョンづくりWS

- ・4つの視点（強み・弱み・資源・不安）からの集落点検
- ・出された内容のグルーピング



○第3回活性化委員会 平成28年11月27日（日）開催

《目的》第1回WSの結果を基に課題解決の提案を出し合い整理する

《内容》第2回活性化ビジョンづくりWS

- ・課題解決に向けた提案を出し合い分類する
- ・分類された提案の緊急度、優先度により再整理する
- ・さらに実施主体別に整理する
- ・活性化ビジョンのスローガンの検討



○第4回活性化委員会 平成29年2月11日（日）開催

《目的》活性化ビジョン内容の確認と共有を図る

《内容》活性化ビジョン（案）の最終確認



あ と が き

越沢自治会活性化委員会 会長 大 滝 由 吉

この度、越沢活性化ビジョン作成にあたり、地域づくりアンケート調査にご協力いただいた自治会の皆様に心から感謝と御礼を申し上げます。当初立ち上げを宣言したものの、何から取り組めば良いのか戸惑う中、ワークショップ形式で委員からの自由な意見や発想を取りまとめ充実した内容となりました。

今回、私自身強く感じた事は、先人達の知恵と技と実行力でした。国道345号バイパス建設工事に伴い、教員住宅跡地に「まやのやかた」を立ち上げたのです。当時、お母さん方のこずかい稼ぎになればとの発足から20数年、今や右肩上がりで越沢を代表する活性化の拠点施設となりつつあります。当時からの関係者に心から敬意を表します。また、笹巻においてもいち早く世に売り出す知恵と努力は尊敬にあたいし、過去の時代がなければ今はありません。

この度の活性化ビジョンは、自治会会員の想いが全て詰まっております。ぜひ、ご一読いただき、共感していただけたら幸いです。今後、絵に描いた餅にならぬよう、住民総参加のもと活性化に向けて取り組んで行かねばと願うところです。

結びに、ビジョン作成に活性化委員としてご協力いただいた方々に深く御礼申し上げると同時に、次世代に豊かで住みよい集落を繋いでゆくために、今後とも自治会皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

越沢音頭

石本美由起 補作

上原げんと 作曲

兒玉 雄 吹込

若柳幸二郎 振付制作

協力者 野尻與顕 先生

一、摩耶の白雪 春くる頃は とけて 流るる 小国川

見ごろ年ごろ 花ならつぼみ 越沢おばこの 化粧の水

「 サアサ 唄おう 越沢音頭

」 サアサ 踊ろう 越沢音頭

二、青葉がくれに 日毎にふえる 木の香ゆかしい 軒のかず

サンヨサンヨで いま起き上る 越沢よいとこ 若い村

三、あなた新屋村 わたしは上村 逢うて 笑顔の 盆おどり

太鼓叩くも 小粋じゃないか 越沢若衆の 男ぶり

四、汗で育った 穂波がゆれて 今年しゃ豊年 郷清水

一家総出の 刈り入れ時にゃ 越沢繁昌の 青い空

五、色も黒うて 炭焼きぐらし 村の男は 元気者

山に登れば 佐渡まで見えて 越沢絵になる 歌になる

六、苦勞越沢 摩耶から晴れて のぼる朝日の 振興橋

こころ 新道 明日にのびる 越沢みどりの 山の里

越沢音頭 制作 (昭和二十七年九月) 福栄村青年団越沢支部

後援 福栄村・福栄村青年団・大字越沢・越沢婦人会